

▶ 災害救援ストレス対策研修を実施して ◀

神奈川県消防協会厚木市愛甲郡支部

1. 神奈川県消防協会厚木市愛甲郡支部について

神奈川県消防協会厚木市愛甲郡支部（以下「支部」という。）は、厚木市及び愛甲郡内（愛川町・清川村）の消防団をもって組織されており、その目的は、消防施設の改善、消防活動の強化及び消防思想の普及徹底を図り、地域住民の福祉増進に寄与することです。

支部の構成は厚木市消防団が1本部・8分団・52部・団員数560名、愛川町消防団が1本部・3分団・15部・団員数196名、清川村消防団が1本部・5分団・団員数101名となっています。

2. 各市町村について

厚木市は、神奈川県中央に位置し、扇形に近い地形で、人口が224,836人、面積が93.84km²あります。また、首都圏から50km圏内に位置し、東名高速道路や圏央道（さがみ縦貫道路）をはじめ国道246号、小田原厚木道路などが整備され、交通の要衝としての地理的条件にも恵まれています。

愛川町は、県央北部に位置し、人口が40,847人、面積が34.28km²あります。相模川と中津川の清流に挟まれた自然豊かな台地で、首都圏最大級の宮ヶ瀬ダムがあります。昨年、圏央道が東名高速道路から東北自動車道までつながった



ことで、相模原愛川インターチェンジを利用した交通アクセスが一段と向上しました。

清川村は、県内北西部の東丹沢山麓に位置し、人口3,013人、面積71.24km²の神奈川県唯一の村です。面積の89%を山林で占めており、気候も比較的温暖で、自然の動植物の宝庫でもあります。

3. 災害救援ストレス対策研修開催の経緯

支部の事業は、消防団員に係る表彰や、消防団体相互間の連絡など多岐に渡るもので、その事業の中の一つに消防に関する調査、研究、指導及び講習があります。2年に一度、「消防団幹部教育」として座学を行っており、前回、消防団員等公務災害補償等共済基金の安全管理セミナーを開催し、有意義な研修を受けることができましたので、今回も同様の研修会を開催する運びとなりました。

当支部では、これまで惨事ストレスにより日常生活や消防団活動に影響が出たという例はありませんが、消防団員は自然災害や大規模火災における活動において、精神的な負担を受けるおそれがありますので、団員を指導する立場の幹部に、ストレスに関する知識を高める貴重な研修になると考え、今年度は災害救援ストレス対策研修を開催したものです。

4. 災害救援ストレス対策研修を実施して

平成29年6月11日（日）、厚木市消防本部北消防署睦合分署にて、日本医科大学武蔵小杉病院健康管理室・周産期小児医療センター臨床心理士である重村朋子先生を講師にお迎えして研修を開催し、幹部40人が受講しました。

講義では日常のストレスから惨事ストレス

まで詳しく説明していただき、惨事の衝撃は強弱はあれ影響してくるということ、仲間の力・組織の力でストレスを解消すること、人の本来持っている力・しなやかさで対応することを学びました。

5. 今後の取組について

研修後、受講者から「団員の心のケアを考え、今回学んだことを今後の指導に役立てていきたい。」「指導する立場でありながら、災害時の団

員のストレスなど今まで真剣に考えていなかった。この研修を機に声掛けなどを意識していきたい。」などの感想をいただきました。今回の研修で、各団とも惨事ストレスと心のケアについて、理解や知識が大いに高まったと思います。当支部では、今後も各団の連携、団員間の結束を強固にしていくための研修を実施していきたいと考えております。

※人口及び団員数については平成29年4月1日現在

